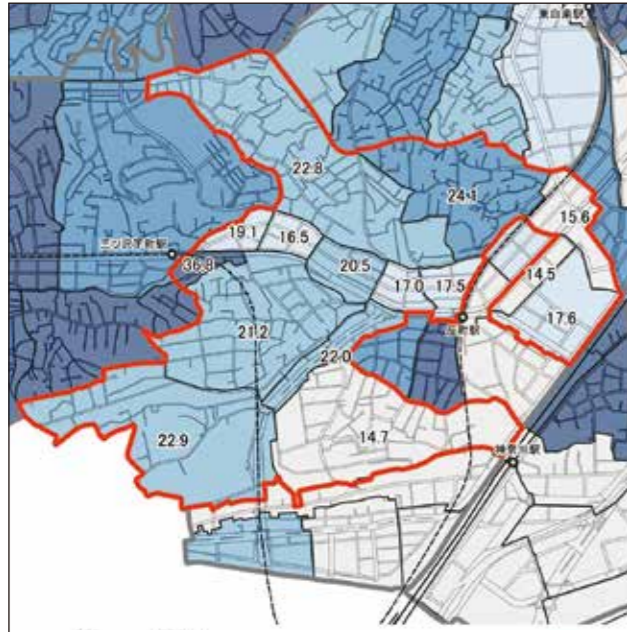
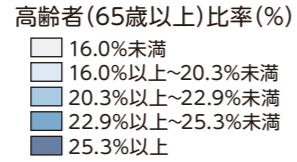


高齢者の分布

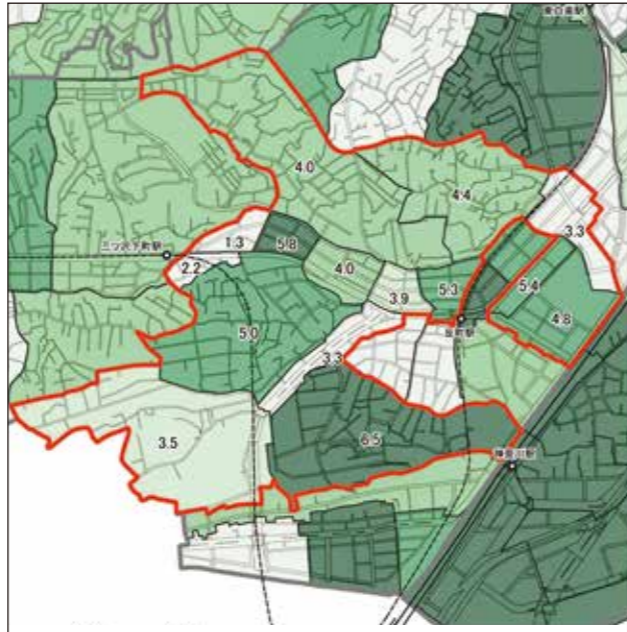
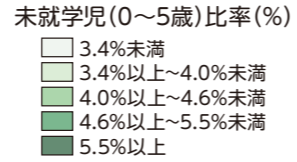
※住民基本台帳による、令和3年3月時点



※町名は、人口増加率の地図を参照ください。

未就学児の分布

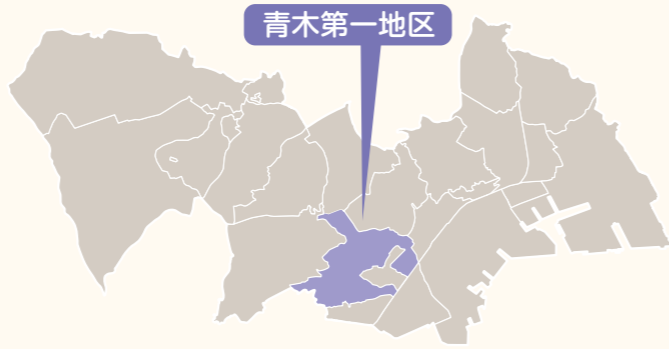
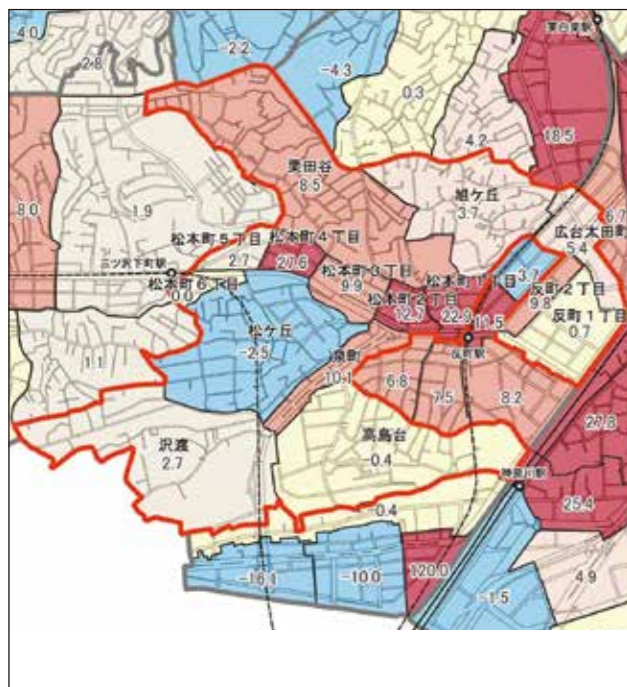
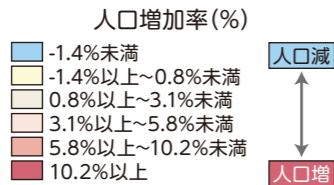
※住民基本台帳による、令和3年3月時点



※町名は、人口増加率の地図を参照ください。

人口増加率

住民基本台帳による、平成28年3月及び令和3年3月時点



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)
 ※区の未就学児(0~5歳)の比率は、**4.5%**です。(令和3年3月時点)
 ※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)
 ※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。
 ※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。
 ※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

この計画は、住み慣れたまちで安心して暮らせることを目指し、地区内の様々な人・団体の想いが込められています。

区の計画や他地区の計画は、区HPをご確認ください▶



緩やかなつながりで 様々な人が地域で支え合うまち 青木第一

- 神奈川区役所
- 社会福祉協議会
- 地区センター・公会堂・集会所等
- スポーツ施設
- 地域子育て支援拠点
- 病院
- 地域ケアプラザ
- 福祉施設
- 小学校
- 中学校
- 公立高校

- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



地区概要

横浜駅に近く、地区に隣接して東急東横線反町駅、京急線神奈川駅、市営地下鉄三ツ沢下町駅があります。丘の上は戸建て住宅が多く、幹線道路の沿道や公園の周辺には集合住宅も立地しています。地区の北部は、大規模震災時の火災の延焼拡大抑止に向けた対策が必要な地域とされています。地区内には反町公園、台町公園、沢渡中央公園などの公園があります。

人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	青木第一地区	神奈川区
総人口	17,283人	241,561人
0~14歳	1,870人(10.8%)	27,491人(11.4%)
15~64歳	11,995人(69.4%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	3,418人(19.8%)	53,136人(22.0%)

	青木第一地区	神奈川区
総世帯数	9,693世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.78人	1.87人
65歳以上ひとり暮らし世帯	1,269世帯(13.1%)	18,089世帯(14.0%)

これまでの取組とこれからに向けて

東急反町駅周辺の商業地から、栗田谷、松ヶ丘、高島台等の丘陵地にある住宅まで、さまざまな表情を見せる地域です。

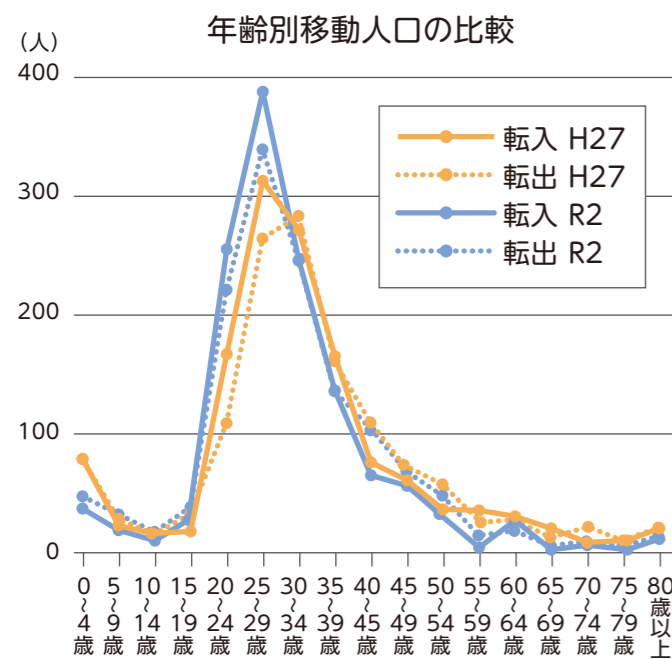


この地域では、高齢者の交流を目的としたサロン活動やふれあい訪問、自治会町内会を中心とした地域住民による援護が必要な方への見守り、「学援隊」「すすくかめっ子」での子ども世代との世代間交流などが積極的に行われています。「ふれあいコンサート」や「グラウンド・ゴルフ大会」を通じて障がいのある方との交流も活発です。

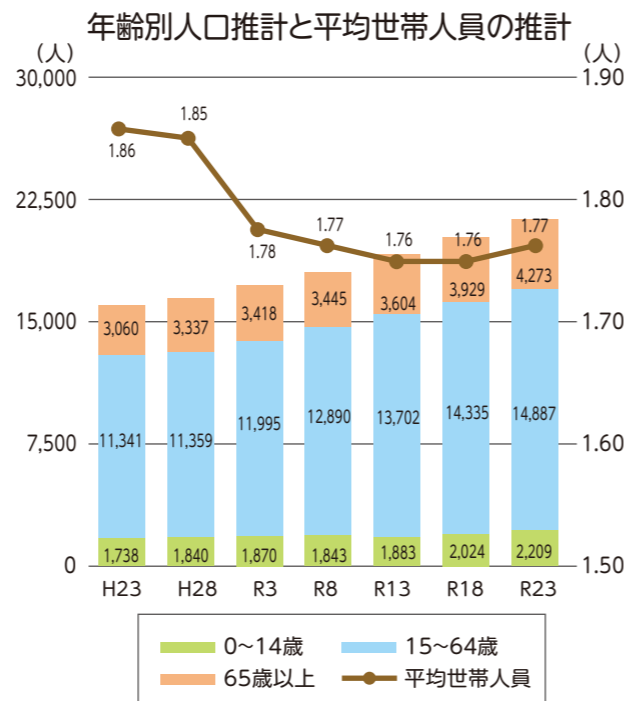
今後は、災害や感染症流行時の助け合い、緩やかに誰もがつながれる場づくり、子どもや若い世代、新しい住民との交流の機会拡大と、更なる地域の一体感の強化をすすめていきます。



地区状況①



※各年の住民基本台帳(3月)



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

緩やかなつながりで 様々な人が地域で支え合うまち 青木第一

目標 1 日常적인見守り・
支え合いから災害にも強く、
安全・安心な町をつくろう

取組内容

- 地域情報や援護の必要な方の情報を共有できる機会を増やす
- 声かけ・あいさつ運動や防犯パトロールなどを通し、安全・安心なまちをつくる
- ふれあい訪問活動を強化、拡大する
- 援護の必要な方の見守り、助け合いのため、多くの人がかかわる機会をつくる
- 災害時の支援情報や避難ルートなどを、地域住民で共有する
- 災害時や感染症流行時など、どんな時でも相手を思いやり、助け合えるまちをつくる



目標 2 緩やかに
つながれる場や
きっかけをつくろう

取組内容

- サロンやお楽しみ会など、地域の中で交流できる居場所を増やしていく
- 町内会同士の交流の機会を確保する
- 「ポッチャ大会」などを通じ、町内会、老人会、子ども会、福祉関係団体など、様々な団体の交流の場を設ける
- 地域のイベントなどへの参加から、段階的に担い手を育成する
- 子ども会を通じて、親との交流機会を拡大し、担い手を確保する

目標 3 子どもや若い世代が
地域に愛着をもち、自由に
意見を言い合える場をつくろう

取組内容

- 高齢者と子どもなど、異なる世代との接点を段階的に設置する
- 地域活動を継続して担える機会を確保する(子ども会卒業後のかかわりや青年部など)
- 女性の力やネットワークを活かし、親子の集いの広場「すすくかめっ子」の輪を拡大する
- 子育てへの関わりから、地域を知り、顔見知りの機会を拡大する
- 子どもや若い世代に町の歴史を伝え、地域へ関心・愛着をもってもらう

